

【CO<sub>2</sub>添加を行い、侘び草を水中育成する小型水槽のセット】

水中育成プラン

Sサイズ



キューブガラスS+ソーラーミニ S用  
水槽サイズ W31×D18×H24(cm)

or

Mサイズ



キューブガラスM+ソーラーミニ M用  
水槽サイズ W36×D22×H26(cm)

+



山谷石



メコンサンドパウダー



侘び草  
有茎草MIX  
90



侘び草  
かれん  
6.50



Do!aqua  
CO<sub>2</sub>スターターキット

今ならCO<sub>2</sub>ボトル1年分がセット ×12本 (当社調べ)

※目安は2秒間に1滴の添加量で1カ月1本です。

フィルター/オートヒーター/水温計は  
別途購入していただく必要があります。

水草、熱帯魚を飼育するためには、本セットのほかに、  
水量約20ℓ程度に適したオートヒーター、フィルター(ろ過器)が  
別途必要となります。小型魚を少し飼育する程度であれば、  
ブッパIが油膜取りを兼ねた水中フィルターとしての機能を果たします。



水面クリーナー  
ブッパI



NAサーモメーターJ  
ホワイトタイプ

詳しくは

<http://www.adana.co.jp>

サービスセンター ☎0256-72-1994 (平日 10:30~17:30)



株式会社 アクアデザインアmano  
新潟県新潟市西蒲区漆山8554-1  
aqua design amano CO.,LTD.  
8554-1 Urushiyama, Nishikan-ku, Niigata 953-0054, Japan

価格改定のため予告なく仕様やデザインを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
本誌に掲載されている写真・記事の無断転載を禁じます。  
©2011 AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD. Printed in JAPAN

「誰でもできる侘び草レイアウト」



キャンペーン期間  
12/1~1/20

今なら  
CO<sub>2</sub>ボトルが  
1年分!

12本  
(当社調べ)

はじめての  
水草  
レイアウト

水草  
レイアウト

アクアデザインアmanoがおすすめするビギナー向けの水草レイアウトプランをご紹介します。

水中育成プラン

# 水槽セットアップの手順

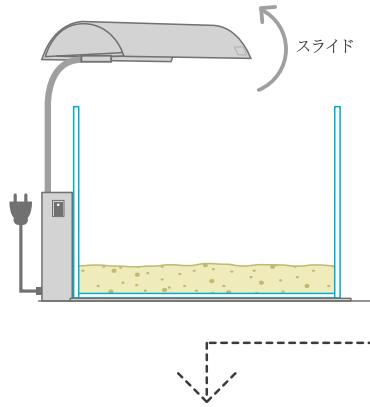
はじめての方にもできる侘び草レイアウトです。Let's Try!

レイアウト  
完成

水中育成プラン

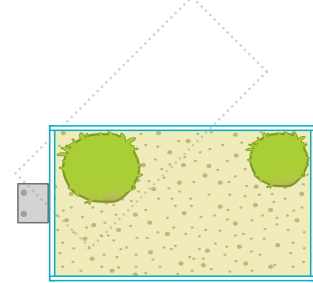
## 1. ソーラーミニと水槽を設置します。

水草を水中で育成する場合は、直射日光が射込まない場所に水槽を設置します。次に水道水で洗ったメコンサンド(砂)を薄くならして敷いてください。



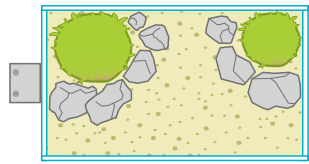
## 2. 侘び草を置きます。

セットには大、小、2つの侘び草が入っていますが、空間の広がる右サイドに小さな「侘び草かれん」を配置したほうが、見た目よくなります。



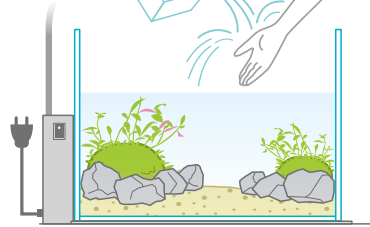
## 3. 山谷石を配石します。

配置した侘び草の周りに山谷石を並べます。石は整然と並べ過ぎず、水槽奥が狭まるように配石すると、奥行きが感じられるようになります。



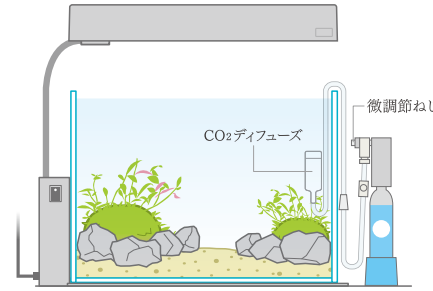
## 4. 水を静かに注ぎましょう。

水道水はbeファイン(別売)で塩素中和を行ってから静かに注ぎます。また冬場などは、予め水温を25°C程度に合わせた水道水を用意するようにしましょう。



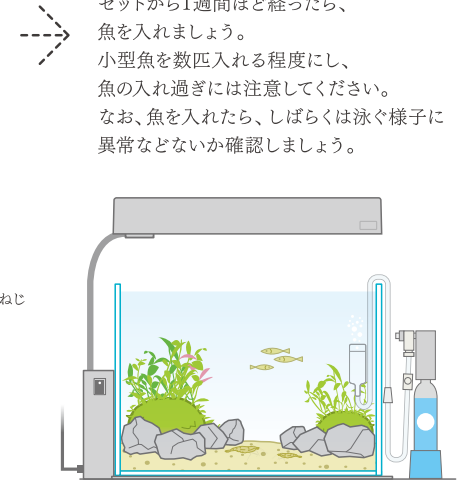
## 5. CO2添加器具をセットします。

CO2スターターキットの説明書にしたがって、添加器具を正しくセットします。CO2レギュレーターの微調節ねじを開き、CO2ディフューズのカウンターで気泡の数を確認しながら添加量を調節します。はじめは2秒間に1滴からスタートしましょう。



## 6. 魚を入れます。

セットから1週間ほど経ったら、魚を入れましょう。小型魚を数匹入れる程度にし、魚の入れ過ぎには注意してください。なお、魚を入れたら、しばらくは泳ぐ様子が異常などないか確認しましょう。



※本セットのほかに、水量約20ℓ程度に適したオートヒーター、フィルター(ろ過器)が別途必要となります。  
※セット後1週間位すると茶色の藻類が発生することがあります。  
このような場合にはヤマトヌマエビ3〜5匹、オトシンクルス1〜2匹を目安に入れることをおすすめします。

### 魚を入れる

魚やエビを水槽に入れるときには、水合わせを行うことで水質の違いによるショックを防ぐことができます。

1. 水温を合わせましょう。
2. 水を合わせましょう。
3. 魚を入れましょう。



袋のまま水槽に10分くらい浮かべておき、袋と水槽の水の温度を合わせます。

袋の口を開けて、袋の中に水槽の水を少しずつ入れ水を合わせます。

水合わせを行ったら、魚の様子を確認しながら静かに水槽に放します。

※水槽は十分な強度、水平、安定性などを必ず確認した上で設置してください。  
また、水槽をより安全に設置し、ご使用いただくために、ガーデンマット(別売)を併用することをおすすめします。